

テーマ

神経難病患者を支える ICT・DX の活用と多職種連携
- 地域医療と生活「意思・安心・つながり」を守る仕組み -

第1部 基調講演 「ICTでつながる神経難病支援」
信州大学医学部附属病院

脳神経内科医師 難病診療連携コーディネーター 日根野 晃代 氏

第2部 シンポジウム（在宅での活用事例・取組等発表）

- ・訪問看護ステーションから（えびすリハビリ訪問看護ステーション西宮）
- ・兵庫県介護支援専門協会から（居宅介護支援事業所ライツ）

情報提供 兵庫県立福祉のまちづくり研究所

「各種入力支援機器に関するポイントや顔の動きで家電を操作等」

日時等

令和8年11月7日（土）13:30～16:30

兵庫県看護協会 ハーモニーホール（ZOOM 併用）

【会場アクセス】神戸市中央区下山手通5丁目6番24号

神戸市営地下鉄 県庁前駅 徒歩2分 [JR・阪神] 元町駅 西出口 より山手方面へ徒歩約8分

会場周辺図



対象

- 難病医療ネットワーク協議会神経難病部会関係機関関係者
- 神経難病に関わる医療・保健福祉・介護関係者等

神経難病と ICT、必要なのはわかっている でも正直、よくわからない

そんな現場（医療・保健・福祉・介護）の声にこたえる研修です

医師、訪問看護、ケアマネが語る ICTで「できない」が「できる」に変わる現場

会場で「体験展示コーナー」を設置

現地参加申込により一部内容変更・調整

1. 各種入力支援機器
2. コミュニケーション支援機器（意思伝達装置を含む）
3. 食事支援ロボット
4. 家電操作・環境制御機器

*声、視線、指が動けば〇〇ができる、既存のタブレットや iPad 等を使って・顔の動きで家電を操作（顔リモ）

申込



QRコード等で申込み 【申込期日】10/13（火）

https://apply.e-tumo.jp/pref-hyogo-u/offer/offerList_detail?tempSeq=2585

★取得単位（申請中）★

日医生涯教育講座（医師対象）・兵庫県介護支援専門協会単位認定

